

第六期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第17回実施分（令和5年8月7日開催） 自由記載欄

【傍聴者 会場5名・オンライン19名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。（傍聴者4名）

- ・ 小中学校の改築の問題は、もう少しいねいな検討を行ったうえで計画の中に入れるべきではないでしょうか。8月2日に第二小学校の開かれた学校づくり協議会で担当課長から説明があった際、生徒の通学時間について、心配する声が強く出されました。保護者の立場から、自転車通学は危険だという意見も出ました。六中を失う地域住民の声を十分に聞きながら、合意形成をていねいに行う必要があるという課題も提示されました。保護者や地域住民とのコミュニケーションを十分に行い、専門的見地からも多角的に検討し、委員会の中でも言われていたように、メリット・デメリットを総合的に整理したうえで、判断すべきだと強く考えます。そうした検討なしにいきなり計画の文言として出すのは、あまりにも乱暴ではないでしょうか。今回の計画案からは具体的な学校名を除外すべきだと思います。
- ・ 計画案の学校改築計画について、踏み込んだ議論をオープンにさせていただけて良かったです。二中六中統合のことがSNSで流れていたりして疑問だったので、第六期長期計画調整計画（案）に掲載するかどうかを（案の一つとしても）議論していただけたのは良かったです。委員が仰っていたように、個別計画との関連を書いていた方が良くとも思いました。（私は小規模校で少人数学級が良いと思っています）
- ・ 財政計画は、ここまで丁寧に書き込んでくれる自治体は本当に少ないです。より良い市政を市民参加で作っていくためには、市民も財政について勉強しないといけないと思いました。
- ・ 二中・六中の統合と二小の移転について。策定委員はみなさん教育的なメリット・デメリットを第一に考えてくださっていて良かったです。また、ある委員の「ソフト(教育)もハード(建物)どちらの面でもメリット・デメリットある。建築面だけで評価するなら、統合案のほうがハード的にあきらかに有利な点があるのであれば、それは約束されたメリットであるので、それを無視して統合するしないを決めるのはよくない。建築的には非常に妥当な理詰めでもメリットが多い統合計画案だと思う。仮設の状況を作らないというのが優れている」という意見(急ぎメモなのでニュアンス違ったらすみません)も全くもつとも、あらゆる可能性を否定せず、でも教育面や子どもにとってのメリットを大切に検討してほしい建て替え計画だと思いました。子どもの意見も聞いてほしい。
- ・ 財政計画の説明、大変興味深く拝読／拝聴しました。今回の財政シュミレーションは、「将来的に生じることが確実な多額の投資的経費を、基金および市債を活用して賄うことができるのか」という課題

に対して、「もっとも蓋然性が高いと思われる一つのシナリオ」に沿って推計値を算出したものであるとされています。可能な限り不確定要素を排除し導出された推測データを示すことに意義を見出し、だからこそ、財政状況「検証」のためのツールとなりうるのだという説明には、納得がゆきます。その一方で、「一つのシナリオ」に沿って、『公共施設の大更新期』を乗り越えることができる」・・・という結論を出した（はずの）シュミレーションに対する評価(p. 89)においては、「楽観視できる状況ではない」という指摘がなされています。その大なる理由の一つが「算入できていない大規模事業」であることは、p. 89 2-3 行目で挙げられている具体例からも明らかです。実際、今回の委員会の質疑においても、その点に関する確認がなされていました。

その点を踏まえると、はたして、今回のシュミレーションを活用した「検証」作業が、今後、どのようなスケジュールで、誰によって、いかなる方法で行われることになるのか、調整計画策定委員会としての考え方を、計画案に明記することはできないのでしょうか？

- ・ 今回の計画案において、「子ども基本法」と「子ども家庭庁」の創設について加筆はされていましたが（p. 15）、依然として、施策の体系（pp. 35-42）において、新たな法的枠組みにおける国と市の政策の整合性に関して、何も言及がないのはなぜでしょうか？

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。（傍聴者4名記載）

- ・ 生物多様性の重要な側面の一つは、遺伝子の多様性です。それは地域ごとに連綿とつながってきた遺伝子を守っていくことです。そのため「武蔵野市らしい生物多様性」を守るためには、遺伝子の保護が必須の課題です。そこでたとえばP58の12行目「推進する。」のあとに「とりわけ地域の中で連綿と命をつないできた遺伝子を守るための方策を講ずる」などの文を入れることを検討して下さい幸いです。
- ・ 外部化による財政面の効率化とは、一方で職員の専門性、当事者性を低下させ、行政機能の空洞化を招くことにもなるので、そのあたりの課題も計画に書き込むべきだと思います。
- ・ 二中と六中の統合の話です。
その昔、まだ二中しかなかった頃、境南町1丁目と2丁目の生徒たちには、二中の校舎への自転車通学が許されていたと記憶しています。
また、六中の創設が、境南町1丁目および2丁目在住の生徒および保護者にとって、どれほど嬉しい出来事であったか、その喜びの大きさを、あらためて思い出しました。
そうした経験を経ている地元人間として、今回の統合案を進めるにせよ、異なる選択肢を模索するにせよ、六中を廃することで何が失われてしまうのか？との点が、もっとも気にかかります。
- ・ オンライン参加でしたが、とても聞きやすく、分かりやすく、良かったです。ありがとうございました。

- その意見に賛成！と思う時は、いいねボタンがあると良いなと思いました。
- できればオンライン傍聴の申し込み締め切り期限を無くしてほしい(自分が傍聴した会議は土日挟むと 4 日前には申し込み締め切りになってしまう)。会場でのリアル傍聴は申し込み不要なのに、どこからでも参加できて便利なはずのオンライン傍聴が要申込で締切ありとは…参加者への招待メール送信とかいろいろ手続きがあるがゆえの締切設定なのだと思うが、どうも納得しきれない。過渡期だから仕方ないのだろうか？
- 委員の皆様の熱心な議論に感銘を受けます。事務局の皆様も丁寧に対応していただき、感謝です。いつもありがとうございます。

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。

また、委員名については削除しています。